

令和2年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の  
サルによる被害防止管理委員会 会議録

1 会議の名称	令和2年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会
2 開催日時	令和2年7月20日(月) 14時00分～15時20分
3 開催場所	富津市役所 5階 502・503会議室
4 審議等事項	(1) 令和元年度事業報告及び決算について (2) 委員会設置要綱改正について
5 出席者名	委員 小泉義行、岡根 茂、粕谷哲也、奈良和大和 棟方雅典(代理:松下順一)、岩井 宏(代理:永瀧一環) 高梨友男、三橋 裕、大澤健司、池田文隆、清田義昭 嶋野利郎 オブザーバー 後藤 亮(千葉県教育庁教育振興部文化財課) 岩城 光(千葉県環境生活部自然保護課) 事務局 (調査団) 直井洋司、白鳥大祐 (富津市) 相澤智巳、樋口峰昭、桐村修司、金木佑天 (君津市) 矢野淳一、當眞紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人の人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
(富津市)樋口 生涯学習課長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>定刻となりましたので、令和2年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を開催いたします。</p> <p>本日は御多用のところ、本会議に御出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます、富津市生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、出欠席の報告をいたします。</p> <p>中川副委員長、磯部委員からは、本日、欠席される旨の御連絡をいただいております。</p> <p>本日の会議は、出席者12名、欠席者2名です。よって、過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、小泉富津市副市長より挨拶申し上げます。</p>
小泉委員長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>委員長を務めさせていただきます、富津市副市長の小泉でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、公私共に御多忙の中、御臨席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃より当地域の文化財行政に御理解と御協力をいただき深く感謝申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年度第2回会議を書面にて開催させていただきましたが、「令和元年2月29日時点での事業の経過報告及び予算執行状況、令和2年度事業計画及び予算案」について、御承認をいただき、改めて感謝申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルスはいまだに予断を許さない状況でございますが、対策を講じた上で、この度、会議を開催させていただく運びとなりました。</p> <p>当地域でのサルによる作物への被害はいまだ多く、その役割は益々重要なものになっております。</p>

<p>(富津市)樋口 生涯学習課長</p>	<p>本日は、千葉県教育庁教育振興部文化財課から後藤様、千葉県環境生活部自然保護課から岩城様のお二人にお越しいただいております。お二人には、今後の方針等について後ほどお話をいただきたく存じます。よろしく願いいたします。</p> <p>さて、本日の議題ですが、</p> <p>(1) 令和元年度事業報告及び決算について</p> <p>(2) 委員会設置要綱改正について</p> <p>の2件です。様々な立場からの活発な御意見、御提案等で御審議いただきたく存じます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、お手元にお配りしました資料の確認を行います。</p>
<p>(富津市) 金木主事</p>	<p>それでは、お配りしました資料の確認をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 席次表</li> <li>2. 会議次第</li> <li>3. 当委員会設置要綱</li> <li>4. 当委員会名簿</li> <li>5. 令和元年度被害防止管理事業報告書</li> <li>6. 令和元年度被害防止管理事業決算書（案）</li> <li>7. 当委員会設置要綱改正案</li> </ol> <p>以上の7点です。</p> <p>なお、委員長が冒頭の挨拶で申し上げましたとおり、令和2年度の事業計画及び予算は昨年度3月の書面会議にて御承認をいただいているところですが、その資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、事務局に用意がございますので、会議終了後にお申し出ください。</p> <p>そのほか、不足はございませんでしょうか。</p> <p>ないようですので、資料の確認を終わります。</p>

<p>(富津市)樋口 生涯学習課長</p>	<p>本日の会議は「公開」となります。 会議終了後、会議録を作成し、富津市及び君津市のホームページにて公開いたします。 会議録作成のため、録音させていただきますので御了承願います。</p> <p>それでは、ここからは本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を小泉委員長にお願いいたします。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>それでは、進行を務めさせていただきますので、スムーズな進行の御協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに会議録署名委員2名を決定したいと思います。こちらから指名してよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>それでは、高梨友男委員と池田文隆委員にお願いいたします。</p> <p>議題に入ります。 議題(1)「令和元年度事業報告及び決算について」事務局の説明を求めます。</p>
<p>(君津市)當眞 副主幹(事) 文化振興係長</p>	<p>令和元年度事業報告について、説明いたします。 ○資料5『令和元年度 被害防止管理事業報告書』に沿って説明。 7ページを御覧ください。 1. 被害防止 (1) 電気柵 本事業で設置した既設電気柵の維持管理、改修を実施しました。</p>

本事業で対象としている電気柵は8・9ページ、点検結果は10ページに掲載しております。

令和元年度は、例年日常的に起こる不具合に加え、9月9日の台風15号により、多くの電気柵が故障しました。

対象としている電気柵の被災状況確認後、10月10日（木）に事務局会議を実施し、台風後の本事業の対応として、

①被災からの電気柵復旧を優先する。

②電気柵のうち、台風以前に機能していた区間を優先して実施する。

とし、令和元年度分として用意していた電気柵240m分（富津市150m、君津市90m）の資材は、老朽化等により傷んだ電気柵だけでなく、被災箇所の復旧にも使用することとして、当初の計画を変更して進めることといたしました。

10月10日以降も台風19号、大雨等が続き、被害状況の様子を見ながらの対応となりましたことをここで報告させていただきます。

地区ごとの改修の概要を説明いたします。

11ページを御覧ください。

①富津市宇藤原地区北東部の電気柵

この地区は、耕作地を小さく囲うのではなく、集落全体を大きく囲う形で電気柵が設置されていますが、台風により、倒木による倒壊、土砂崩れによる埋没、地盤崩落、強風による柵の倒壊、支柱の傾きが多くありました。被災状況は、写真-1.3～1.8に掲載しております。また、13ページの上の地図は被災時の状況、下の地図は3月末の修復状況を示したものです。

この宇藤原地区北東部の被害は大きく、元年度予算内ではすべてを修復できず、修復未着手または修復途中の箇所がまだ残っている状況です。

14ページを御覧ください。

②宇藤原地区北西部及び高溝地区の電気柵

この地区でも倒木、強風による倒壊、支柱の傾きがありましたので、被災前に機能していた区間の修理を優先して実施しました。15ページ下の地図に3月末時点の復旧の状況を示しております。T13とT11+T17の一部以外はおおむね復旧しております。

16ページ、③君津市平田・西日笠地区の電気柵

18 ページ、④怒田沢地区の電気柵

こちらにもそれぞれの被害状況の写真を掲載しております。倒木、強風による倒壊、支柱の傾きなどがありましたが、被災前に機能していた区間を優先して実施し、おおむね復旧している状況です。

20 ページを御覧ください。

### (2) 被害多発期の追い払いによる被害防止

8月1日から9月7日までの期間、要現状変更範囲である富津市宇藤原・高溝地区およびその周辺で、追い払いを実施しました。実施員数は延べ32.5人です。

### (3) 被害実態調査

3月、合計47戸を対象に聞き取り調査を実施しました。調査地点は、22 ページに記載してあります。宇藤原地区10戸、富津市側の宇藤原以外の地区19戸、君津市側地区18戸を対象に調査を行いました。調査結果は23～25 ページに示しています。

全体的な傾向を昨年度と比較すると、23 ページの図-1.11 のとおり、3地区とも被害率・被害指数ともに増加しており、平成14年度以降でも一番高い数値となりました。

令和元年度の回答を前年度と比べたところ、「×」回答（作付け不能、被害程度100）が増加しており、そのことが被害値の増加に影響していると思われます。

26 ページを御覧ください。

## 2. 生態調査と個体数管理

### (1) 電波発信機装着のための捕獲

本事業では、電波発信機を装着するために箱ワナを8台、8か所に設置しました。設置箇所は26 ページの図-2.1 に記しております。

27 ページを御覧ください。捕獲した個体には、外部計測、外見による交雑判定、採血等の個体調査を行い、そのうち、交雑等の問題がなく、電波発信機装着に適したメスを対象に装着し、放獣しています。外見による交雑判定には、表-2.1「相対尾長による判定基準」を用いて判定しました。

28 ページを御覧ください。表-2.2「捕獲個体の一覧」です。令和元年度は富津市豊岡でワカモノメス1頭の捕獲がありました。外見で交雑と

判定される個体ではなかったため、発信機装着後、放獣いたしました。

## (2) 追跡調査

今年度の追跡対象群は、事業開始時はT-II群、小倉A群、イカル群、旅名A群、尾崎群の5群でしたが、年度途中で、T-II群、旅名A群(3頭のうち1頭)、尾崎群の電波が途絶えました。発信機の電池寿命と思われる、年間を通じて追跡可能であった群は、小倉A群、イカル群、旅名A群の3群です。電波発信機装着個体は8頭となります。29ページ、表2.3が「装着個体の一覧」です。

各群れの調査結果については、29～31ページに本文、32～36ページに各群れの遊動域を示した図を掲載しております。県事業での結果も合わせております。

37ページを御覧ください。令和元年度の発信機装着群の行動域をまとめたものを掲載しております。

群れの個体数の目視での観察結果は本文中に記載しておりますが、各群れの推測頭数は、T-II群 20頭、小倉A群 50頭、イカル群 30～50頭、旅名A群 20～30頭です。尾崎群は、発信機電池切れのためカウントの機会がありませんでしたが、前年度は13頭が確認されておりました。

行動域については、各群れに大きな変化はみられませんでした。富津市側の小倉A群については、主に要協議範囲を遊動していますが、一部飛び地の指定地域での遊動が確認されました。君津市側のイカル群は、山から離れた川沿いでの遊動が確認されました。尾崎群については、発信機電池切れで追跡が中断されたため、確認箇所が少なく、細長い範囲になっておりますが、遊動域が狭まったということではありません。

38ページを御覧ください。

## (3) 個体数管理

富津市農林水産課、君津市農政課より有害鳥獣駆除の資料を提供していただき、取りまとめました。38～40ページに地図及び一覧を示しております。40ページに駆除された個体数を掲載しております。

指定地周辺での駆除数は、富津市 20頭、君津市 31頭、合計 51頭です。

平成30年度の捕獲頭数が両市合計87頭でしたので、前年度比36頭

の減となります。内訳は、富津 26 頭、君津市 10 頭の減です。  
 表-2.8 は、駆除数の地域別の内訳、表-2.9 は、駆除された場所等から駆除個体の所属群を推測したものです。

41 ページを御覧ください。

### 3. 生息環境調査

富津市宇藤原地区の峰上ステーションで気温と降水量を測定しました。

気温は、平成 30 年度と比べて大きな変化はありませんでしたが、雨量については、台風 19 号及び大雨災害のあった 10 月の雨の多さが際立っております。

以上、令和元年度事業について報告いたします。

(富津市) 桐村  
 副主幹(事)  
 文化係長

続きまして、決算について説明いたします。

○資料 6『令和元年度 被害防止管理事業決算書(案)』に沿って説明。

歳入	(収入額)	4,473,000 円
	内訳 富津市	2,460,000 円
	君津市	2,013,000 円
歳出	(支出済額)	4,473,000 円
	内訳 報償費	12,000 円
	賃 金	2,535,000 円
	旅 費	241,575 円
	需用費	1,646,295 円
	役務費	38,130 円
	歳出予算額	4,473,000 円
	支出合計	4,473,000 円
	残高	0 円

なお、本決算書については、令和 2 年 3 月 31 日付けで天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団から提出され、両市の承認を得ているものであります。



	<p>以上、報告いたします。</p>
小泉委員長	<p>ありがとうございました。 補足説明等がございましたら、お願いいたします。</p>
(調査団)白鳥	<p>1点、報告書の訂正をお願いいたします。 13 ページ、図-1.3 中のU19 の点線が黒色ですが、正しくはオレンジ色（被災前から機能していなかった区間）となります。</p>
小泉委員長	<p>他にございますか。  ないようですので、質疑に入ります。 御質問等はございますか。</p>
池田委員	<p>台風で電気柵が被害に遭い、さらに老朽化もしていると思いますが、これをただの補修ではなく、大規模に修繕する方策はないのでしょうか。</p>
(君津市)當眞 副主幹(事) 文化振興係長	<p>老朽化した柵が多いことも事実であり、令和元年度も 240mの補修を考えておりましたが、台風により思いがけない被害が出てしまったものであります。 今後、そのようなことも考えて参りますが、すぐにその方策をここで申し上げることはできません。昨年度は、機能が生きているものを優先して直すように進めてきました。今後の方針として考えさせていただきたいと思います。</p>
池田委員	<p>ありがとうございます。 この事業の年間予算が 4,473,000 円で、始まった当初から積算すると億単位の事業費になるかと思えます。この年間予算では少しずつ直すということしかできないと思うのですが、事業名に「天然記念物」と付</p>

	<p>いています。「今、サルがどうなっています。」というのを何十年もモニターしてきました。そのような仕事と被害防止の2本立てでしたが、そろそろ切り替えて、電気柵の建設と天然記念物のモニタリングを別々にしていけるとよいのではないかと考えています。野生の群れを何十年も追跡しているという例はそうあるものではないので、やり遂げれば素晴らしいものになると思いますが、今の状態ではどちらもジリ貧だと思います。</p> <p>是非、仕組みを変えるぐらいのつもりで電気柵と学術面の調査のことを考えていただきたいと思います。要望としてお願いいたします。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>過去にも予算について質問をさせていただいたのですが、報告書にもありますとおり、台風被害に遭った電気柵がまだ直されていない状況です。今年は特にサルの被害が多く、ナスやトマト、カボチャなどの夏野菜が壊滅的です。地元としては何十年も協力してきておりますので、そのあたりを汲んで、もう少し地元に沿った対策を進めていただきたい。</p> <p>それから、災害に際して市の補正予算が組まれていたのではないかと思うのですが、天然記念物事業においてもそのような措置が取れないのでしょうか。</p> <p>また、電気柵についても農林水産課と併せたようなやり方ができないのか検討を進めていただきたい。</p>
<p>(富津市) 桐村 副主幹(事) 文化係長</p>	<p>台風被害に対しての補正予算についてですが、担当として関係部局と協議をしましたが、サルの事業については増額してもらうことができませんでした。今後も関係部局と協議しながら良い方向にもっていけるよう努力して参ります。</p> <p>農林水産課の電気柵については、現状では出荷目的の農地が補助金の対象とのことです。現状では、本事業を中心に電気柵の設置を進めていく形となります。</p>
	<p>高梨委員</p> <p>現在、農林水産課に対しては出荷目的以外の農作物被害も報告するよう回覧がまわっていると思います。あくまでも補助金の対象は出荷目的のものに限られるのでしょうか。</p>

<p>(調査団)直井</p>	<p>これまでも委員会で報告しておりますが、現状、台風被害がなくても宇藤原に関しては、老朽化してきた電気柵を作り替えるだけの予算は正直ありません。加えて今回の台風です。今年度においても同様の被害が生じる恐れがあります。毎年 100～200m程度の改修では追い付かないのが現状です。</p> <p>そのため、農林水産課で扱っている補助金が併用できないかと検討してきましたが、ここで難しいのは、かたや天然記念物、かたやそれ以外というのがあり、担当部署も分かれています。そのあたりがなかなか新しい段階に踏み込んでいけないのかと思います。補助金についてはハードルが高く、天然記念物の事業の中でやるにはそぐわないということで、なかなか上手く進んでいないのが現状です。</p> <p>この事業は、1980年に文化庁の補助金で始まった事業を継続して進めており、今年で41年目になります。当初の予算に比べれば半分以下になってしまっています。また、当初はなかったイノシシ・シカの被害が増えています。このような現状を考えますと、当初よりも単価の高い堅牢な柵を作らなければ突破されてしまいます。そう考えれば、この事業の中身を組み替える、事業の在り方を考えることは必要だと感じます。</p> <p>国の事業にはよく「特区」というものが出てきますが、天然記念物に関わる地域については、そのような考え方が入らないのか。また、今は教育委員会の担当としてやっていますが、もう少し部署間の壁を外して色々な方々の知恵をお借りしてプロジェクトチームのようなものが作れないか、事務局にも検討してもらいたいと思っています。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>前向きに検討していただけるようお願いいたします。</p>
<p>高梨委員</p>	<p>私からもお願いいたします。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>他にございませんか。</p>

<p>清田委員</p>	<p>2点教えてください。</p> <p>まず、決算書について、「需用費・消耗品費」で、「電気柵改修」が当初予定の240mすべてが実施されていますが、「電気柵維持管理」が当初予算の倍額以上使われています。それから、「賃金」の「調査補助員」の項目に「電気柵点検・改修」という言葉が出てきますが、今回の台風被害の対応というのはいかほどかかったのかという目安として、この3つの予算を合算して今回の被害額と見てよろしいのでしょうか。</p> <p>2つ目として、国の災害復旧について何か助成等の考えとして当たらなかったのでしょうか。今後のこともありますのでお願いいたします。</p>
<p>(調査団)直井</p>	<p>決算についてですが、「改修費」と「維持管理」はほぼこの決算書のとおりです。人件費は、調査補助員の「改修作業」と「点検」が一緒になっていますので、この決算書では見えにくくなっております。それから、「改修」には調査員・主任調査員も参加しています。調査員・主任調査員は「追跡調査」等も行っていますので、決算書には災害復旧にかかった実際の人件費ははっきりとは出ておりません。それも含めたすべての人件費とお考えください。</p>
<p>清田委員</p>	<p>国の災害復旧事業等にはいかがでしょうか。</p>
<p>(富津市)桐村 副主幹(事) 文化係長</p>	<p>当事業で設置している電気柵は天然記念物指定地域外のため、国の災害復旧事業に該当しないものになります。</p>
<p>清田委員</p>	<p>それでは、今後大きな災害があったとしても天然記念物として災害復旧の補助金はもらえないということになりますね。</p> <p>わかりました。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>他にございませんか。</p>

池田委員	<p>有害鳥獣駆除についてです。例えば、白浜のほうにアカゲザルの集団、高宕山のほうでも少数ながらいるという話があります。それについて、君津・富津それぞれで有害鳥獣駆除をやっていると思います。</p> <p>サル死体の一部を切り取って保存する、あるいは血液を保存するだけで交雑のモニタリングができるのではないかと思うのですが、猟友会などにそのような協力をいただくことなどはお考えでしょうか。</p>
(千葉県) 岩城副主査	<p>千葉県自然保護課の岩城と申します。</p> <p>県事業において、今年度から富津市・君津市で有害捕獲された個体20頭ずつの遺伝子検査を行い交雑判定することを今年から行っております。尻尾を回収して専門業者に委託し、分析を実施し始めました。</p> <p>実際に尻尾からの遺伝子分析ができるかどうかについては、今年度が初めての取り組みになります。試行的な部分を含めての検証となります。</p>
小泉委員長	他にございますか。
(調査団)白鳥	<p>39ページの有害鳥獣駆除の関係ですが、正確な捕獲地点がわからなかったため、大字・小字の範囲で捕獲地点を示しています。本事業では、駆除された個体が何群だったか、何群から何頭駆除されたのかを把握するために行っています。ただ今の交雑の検査のお話がかかってくると思いますが、同じ字でも少し違うと群れが違ってきます。地図上でピンポイントに捕獲地点がわかれば、地域別の交雑率等ではなく群れ別でわかりますので、正確に捕獲地点を把握してもらいたいと各市農政部局にお願いしたいと思っております。</p>
小泉委員長	事務局としてはいかがでしょうか。

<p>(君津市) 當眞 副主幹(事) 文化振興係長</p>	<p>君津市側の状況ですが、昨年度までは農政課から捕獲地点を地図上に落としたデータを御提供いただいておりましたが、今年度からは地図に落とす作業をしておりません。小字についてはデータを御提供いただいたので割り出せていますが、今後とも農政課との連携を進めていきたいと思ひます。</p>
	<p>ただし、駆除された方が、地図上に場所を落とし込むということが難しいという実情も伺っております。可能な限りで連携をさせていただきたいと考えております。</p>
<p>(調査団) 白鳥</p>	<p>箱ワナについては、設置場所を把握していなければならないと思ひます。銃駆除では場所の把握は難しくなると思ひますが、箱ワナの設置は把握していただきたいと思ひます。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>この件については、今後農政部局と密に連絡を取っていただきたいと思ひます。</p>
	<p>他にございますか。</p>
<p>池田委員</p>	<p>君津市では今年から捕獲地点を地図に落とさなくなったというお話がありましたが、動物の命をいただいているのですから、どの個体がどこで死んだかの記録は残すべきだと思ひます。農作物に被害を出しているために駆除していますが、ただ駆除すればよいというわけではないということを考えていただきたいと思ひます。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>(調査団) 直井</p>	<p>有害鳥獣の駆除について、もう1点、お願いしたいことがございます。箱ワナで捕らえた個体は、捕まった時にはまだ生きていたものが多いのではないかと思ひます。富津市のデータからは、箱ワナではメスの大きな個体というのは見受けられませんが、場合によっては発信機を</p>

	<p>付けられる大きさの個体があろうかと思ひます。天然記念物の指定地域に関わるような場合は、県の自然保護課で行われている調査の絡みでも発信機で群れが追跡できるということは、とても大きな情報になると思ひます。地元の方としては、せつかく捕まえた個体を発信機が付いてるとはいへ、逃がしてしまふことに抵抗がある場合もあるかと思ひます。しかし、両市にはもう少しこのことを頭に入れて対応していただきたく思ひます。このあたり、県からも御指導いただければ、群れの情報の精度も上がってくるのではないかと思ひます。</p> <p>昨今、調査団では発信機が付けにくい状況になっています。かつては狙った場所に箱ワナを設置すれば捕まえたのですが、サルも状況も変わってきたのではないかと思ひます。そのあたりも御検討いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>この件については、調査団と事務局で綿密に調整を図ってください。</p> <p>他にございますか。</p> <p>ないようですので、質疑を終了いたします。御異議はございませんか。</p> <p>御異議もないようですので、 議題（１）「令和元年度事業報告及び決算について」 御承認いただけますでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>（異議なしの声）</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>ありがとうございます。本件は承認されました。</p> <p>続きまして、 議題（２）「委員会設置要綱改正について」 事務局の説明を求めます。</p>

<p>(富津市) 金木主事</p>	<p>委員会設置要綱改正について、御説明いたします。 ○資料7『委員会設置要綱改正案』に沿って説明。</p> <p>本委員会設置要綱第6条第4号 「富津市建設経済部農林水産課長」を「富津市建設経済部農林水産課鳥獣対策室長」に改める。</p> <p>令和2年度より、富津市建設経済部農林水産課に鳥獣対策室が設置されました。これまで農林水産課農林振興係が行っていた有害鳥獣の業務を鳥獣対策室が行います。今後は農林水産課長に代わって鳥獣対策室長に御参加いただきたく、提案いたします。</p> <p>また、御承認いただけましたら、本日7月20日より施行したく存じます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>説明が終わりました。ただいまの説明について、御質問等ございますか。</p> <p>ないようですので、質疑を終了いたします。</p> <p>議題(2)委員会設置要綱改正について、御承認いただけますでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>ありがとうございます。本件は承認されました。</p> <p>続きまして、次第5「千葉県における今後の方針等について」 本日、千葉県教育庁教育振興部文化財課より後藤様、千葉県環境生活部自然保護課より岩城様がみえております。お話を伺いたく存じます。 まずは、後藤様、よろしく願いいたします。</p>



(千葉県)後藤  
文化財主事

千葉県文化財課の後藤です。

2点、お話をさせていただきます。

まず、千葉県の文化財の全体的なお話になりますが、平成31年4月1日付けで文化財保護法が改正されました。その中で、都道府県が「文化財保存活用大綱」というものを策定できるようになりました。文化財の保存活用の基本的な方向性を明確化し、当該都道府県内での各種の取り組みを進めていく上での共通の基盤となるものです。現在、パブリックコメントをしており、本年の9月もしくは10月に策定する予定でございます。

この中で「高宕山のサル生息地」は、「千葉県の県及び地域の特徴と文化財の概要」という項目で自然を代表するものとして記載されます。これは、大綱の策定に関係なく、国指定の文化財は文化庁との連絡調整を行うこと、所有者・管理団体等が実施する事業に対して自立支援や財政支援を行うことが明記されます。

市町村は、大綱ができている中ではそれを勘案して、文化財の「保存活用地域計画」というものを策定することができます。その中で、地域にある文化財の保存・活用をどのように進めていくか、という計画を策定できます。それを策定することで、補助事業の補助率が多少上がるというメリットがあるかと思えます。

2点目として、今回の会議の中で電気柵のお話がありました。電気柵の新設については、国の補助金の中で使えるものがございます。「天然記念物の食害対策の国庫補助金」というものです。これは、国が3分の2の事業費を補助します。実際に天然記念物に指定されているサルの生息地は全国に6つあるのですが、「下北半島のサル及びサルの生息北限地（青森県）」、「箕面山のサル生息地（大阪府）」、「臥牛山のサル生息地（岡山県）」では、こちらの補助金が使われております。電気柵の新設だけでなく、食害対策に関する調査等について、補助の対象になっております。

要現状変更範囲の修正等についてもお話をいただいておりますが、文化庁の担当官との過去のやり取りの経緯を見ますと、現時点で範囲を変更するのは難しいかと思えます。

現在、この事業でサル行動範囲を調査しておりますが、指定範囲の全

<p>小泉委員長</p> <p>(千葉県) 岩城副主査</p>	<p>体的でより詳細な調査をもって、保護すべき天然記念物としての群れと指定から外れる群れをしっかりと調査してから要現状変更範囲や要協議範囲を変えていくことが必要ではないかと思われます。</p> <p>ですから、今後は現在の枠組みを変えて天然記念物の群れの状況をより把握して次の段階に進んだほうがよいのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、岩城様、よろしく願いいたします。</p> <p>千葉県自然保護課からは、ニホンザルについての情報提供という形で資料を配布させていただきました。</p> <p>○追加資料『ニホンザルの生息状況』に沿って説明。</p> <p>平成 29 年度から令和 2 年度まで、3 年間かけて県内全域のニホンザルの生息状況の調査結果をまとめたものです。</p> <p>これまで、県内にどれぐらいの群れがいて、それぞれがどのような範囲で行動しているのかよくわかっていませんでしたので、全県的な悉皆調査として初めて行ったものです。</p> <p>まず、29 年度から 30 年度にかけて「サルの出没カレンダー調査」というものを行いました。こちらは、集落の代表者にサルの出没の記録を取ってもらい、アンケートに回答していただき、その結果から群れの情報を整理して、どのぐらいの範囲にどのぐらいの群れがいるのかを図化しました。それが、図 1 の緑で示したものです。</p> <p>結果として、131 群、少なくとも数えられた範囲で 2800～3800 頭程度のニホンザルが確認されております。アンケートに基づくものですので 100% 正確というわけではありませんが、おおよその推測として採用しております。</p> <p>欠点として、農家にアンケートを取っていますので、人の住んでいない山の中がどうなっているのかはわかりません。そのため、昨年度、山の中に自動撮影カメラを設置・活用してサルが生息状況を把握しました。それが、図 1 に赤と黄色と青で示したメッシュ部分です。赤の部分では群れが確認されています。</p>
--	---

この3か年の調査を合わせ、県南部の広域にわたってニホンザルが生息していることがわかりました。

裏面を御覧ください。

さきほどの出没カレンダー調査に関しては、アンケート調査の際に「群れの加害性（農作物被害の程度・集落に出没する程度）」を合わせた調査を行っていますので、「群れごとの加害レベル」を算出することができました。

環境省のガイドラインでは、加害レベルを6つ（0～5）に分けております。これに基づいて評価したところ、レベル2～4の群れが確認されました。レベル0や1（ほぼ山に生息し、集落にほとんど出ない群れ）は確認されず、どの群れも一定程度の農作物被害を出しているという結果となりました。一方で、加害レベル5という甚大な被害を及ぼす群れ（通年に渡る農作物被害、又は集落の生活に多大な影響を及ぼす程度）についても確認できませんでした。そのため、今期の特徴としてはレベル2～4に収まる群れが広がるというものでした。

是非、情報提供という形で御活用ください。

また、今年度のニホンザル調査事業について簡単に御説明いたします。

主に鋸南町・南房総市を中心に、交雑したサルを除去するための対策を行っております。テレメーター装着分を含めた100頭の捕獲を目標に進めて参ります。鋸南町や南房総市は交雑率が高いということがわかっておりますので、まずはこちらを集中的に捕獲していきます。

また、先ほど御案内しましたが、今年度、新たに富津・君津市で有害捕獲されたニホンザルの尻尾を活用しての遺伝子分析が可能かを試行的に行っていきます。これまでは、有害捕獲した個体の写真を活用して個体の色味や相対尾長から交雑個体かどうかを判定しておりました。やはり写真だけでは判断が難しくなってきましたので、遺伝子分析の検討を進めることとなっております。

県で策定している「第二種特定鳥獣管理計画」の期間が来年度いっぱい終了します。3年間の調査も終わり、その結果を踏まえてもう一度管理計画を見直さなければならないことについて、内部で議論しております。こちらの天然記念物事業の情報を活用させていただきながら、来

	<p>年度の計画改定作業に移させていただきます。 私からは以上です。</p>
小泉委員長	<p>ありがとうございました。 ただいまのお二人の御説明について、御質問等ございますか。</p>
(調査団)直井	<p>自然保護課の調査結果では、図1の高宕山の中心地には群れがいないのですが、これは、カメラ調査も行ったが引っかからなかったと捉えてもよいのでしょうか。</p>
(千葉県) 岩城副主査	<p>カメラ調査を実施していない地域もございます。図中でメッシュを入れていない地域はカメラ調査を実施していません。集落関係を抽出していますので。</p>
(調査団)直井	<p>人家等がないので難しいというわけですね。</p>
小泉委員長	<p>他にございますか。</p>
(千葉県)後藤 文化財主事	<p>図2には、加害レベル2～4しかありませんが、0の群れが完全にいないというわけではなく、調査上まだ出てきていないという認識でよろしいのでしょうか。</p>
(千葉県) 岩城副主査	<p>そうですね。被害レベル0については、少なくとも出没カレンダー調査では検出されませんでした。</p>
(千葉県)後藤 文化財主事	<p>もっと山奥にいて、検出されていないということでしょうか。</p>

<p>(千葉県) 岩城副主査</p>	<p>そうですね。もしかしたら山で生活が完結している群れがいるかもしれませんが、自動撮影カメラではそこまで検出ができていません。</p>
<p>(千葉県)後藤 文化財主事</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>(調査団)白鳥</p>	<p>岩城さんに質問です。 勝浦地区が空白ですが、ここは群れがいるはずの場所だと思うのですが、いかがでしょうか。回答が得られなかったのでしょうか。</p>
<p>(千葉県) 岩城副主査</p>	<p>勝浦地区や個別の状況に関しては、詳細に見ていかなければならないかと思います。確かに、いるはずの地区にも検出されていない場合があります。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>ないようですので、質疑を終了いたします。</p> <p>続きまして、次第6「その他」についてですが、何かございますか。</p> <p>(委員・事務局共になし)</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>ないようですので、これで議長の職を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>

<p>(富津市)樋口 生涯学習課長</p>	<p>小泉委員長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和2年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたる御審議、ありがとうございました。</p>
---------------------------	--